

つるおか

# 市議会

令和6年

9月定例会号

●R6.11.1発行

Vol.81

だより

## 環境フェアつるおか2024

9月22日/つるしんアリーナ小真木原(小真木原総合体育館)

【写真:森林公園「ケヤキの森」の樹木の名札づくりに挑戦する子どもたち】

9月定例会の概要	.....	P 2
議案一覧	.....	P 3
委員会審査	.....	P 4
定例会のポイント	.....	P 6
総括質問	.....	P 7
一般質問	.....	P11



## 9月定例会の概要

令和5年度決算を認定  
補正予算、条例の一部改正等  
26件を審議

9月定例会は、9月3日に開会し、市当局が17件の議案を提出しました。請願3件については、所管の常任委員会に付託しました。  
上程された議案・請願は、総括質問、委員会審査などの後、議員提出の意見書5件を含め審議し、25日間の会期を経て、9月27日に閉会しました。  
(議案・請願・意見書の内容と審議結果は3頁)

### 8人が総括質問

開会初日は、市当局が決算議案4件、予算議案2件、条例議案6件、事件議案1件、人事案件4件の計17件の議案を提出し、監査委員による決算審査意見書の説明の後、各会派を代表して8人の議員が総括質問を行いました。  
(質問内容は7～9頁)

上程された議案のうち、議第66号から議第78号について、決算議案は決算特別委員会に、予算議案は予算特別委員会に、条例及び事件議案は所管の常任委員会に付託しました。

次に、議第79号から議第82号までの4件を審議し、表決の結果、全員賛成で同意しました。  
(人事案件の内容は下段)

### 24人が一般質問

5日、6日、9日の3日間、24人の議員が市当局に対し、市政全般について一般質問を行いました。  
(質問内容は11～15頁)



### 決算・予算特別委員会を開催、提案趣旨を説明

10日に決算特別委員会及び予算特別委員会を開催しました。各委員会において、決算及び予算議案の提案説明が行われた後、各分科会に分割付託しました。

### 各常任委員会を開催

### 決算・予算議案等を審査

11日に総務、12日に市民文教、13日に厚生、17日に産業建設の各常任委員会を開催しました。常任委員会では、付託された条例及び事件議案の審査を行い、決算特別委員会分科会及び予算特別委員会分科会では、決算及び予算議案の審査を行いました。  
(審査内容は4～5頁)

また、総務常任委員会では、付託された請願の審査を行いました。

### 請願2件を採択 決算・予算の分科会報告

26日の本会議では、総務常任委員長が意見書提出を求める請願3件について審査報告を行い、請願第4号は表決の結果、全員賛成で採択とし、請願第3号は質疑・討論の後、表決の結果、賛成多数で採択、請願第5号は

討論の後、表決の結果、賛成少数で不採択としました。

本会議終了後に開催した決算特別委員会では、各分科会委員長が決算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で可決及び認定しました。

引き続き、予算特別委員会を開催し、各分科会委員長が予算議案の審査報告を行い、表決の結果、全員賛成で承認及び可決しました。

### 意見書4件を可決 5年度決算等を可決及び認定

最終日の27日、議員提出の意見書5件を審議し、議会第6号及び議会第7号は表決の結果、全員賛成で可決し、議会第8号は表決の結果、賛成多数で可決、議会第9号は討論の後、表決の結果、賛成多数で可決しました。また、議会第10号は討論の後、表決の結果、賛成少数で否決しました。

次に、決算特別委員長が決算議案、予算特別委員長が予算議案、各常任委員長が条例及び事件議案についての審査報告を行いました。表決の結果、議第66号から議第69号までの4件は全員賛成で可決及び認定、議第70号から議第78号までの9件は全

### 人事案件の結果

#### 表彰条例に基づく表彰

渡部 長和 氏(東岩本)  
木古内を訪ねる会  
小野木 覺 氏(藤島)  
上野 隆一 氏(三和)  
國井 英夫 氏(青柳町)  
佐藤 茂一 氏(道形町)

※広報「つるおか」10月号に詳細が掲載されています。

#### 教育委員会委員

小林 真貴子 氏(羽黒町手向)

#### 農業委員会委員

鈴木 敏徳 氏(中京田)

#### 人権擁護委員候補者

今野 和恵 氏(青柳町)  
土田 浩和 氏(上田沢)

## 9月定例会日程

- 3日 本会議 (総括質問)
- 5・6・9日 本会議 (一般質問)
- 10日 決算・予算特別委員会
- 11～13・17日 常任委員会
- 26日 本会議  
決算・予算特別委員会
- 27日 本会議

### ▼市長提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議第66号	令和5年度鶴岡市一般会計及び特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定 (全員賛成)
議第67号	令和5年度鶴岡市病院事業会計決算の認定について	決算特別	
議第68号	令和5年度鶴岡市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	可決及び認定 (全員賛成)
議第69号	令和5年度鶴岡市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	
議第70号	令和6年度鶴岡市一般会計補正予算(専決第1号)の専決処分の承認について	予算特別	承認 (全員賛成)
議第71号	令和6年度鶴岡市一般会計補正予算(第3号)	予算特別	
議第72号	鶴岡市市税条例の一部改正について	総務	
議第73号	鶴岡市地方活力向上地域における固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例の一部改正について	総務	
議第74号	鶴岡市財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部改正について	総務	
議第75号	鶴岡市消防団条例の一部改正について	市民文教	
	消防団員の定員について、実人数とのかい離を考慮し、3,120人から2,750人に改めるもの		可決 (全員賛成)
議第76号	鶴岡市国民健康保険条例の一部改正について	厚生	
	令和6年12月に予定されている被保険者証の廃止に伴い、被保険者証に関する規定を削るもの		
議第77号	山形県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更について	厚生	
議第78号	鶴岡市基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正について	産業建設	
議第79号	鶴岡市表彰条例に基づく表彰について	省略	同意 (全員賛成)
議第80号	鶴岡市教育委員会委員の任命について	省略	
議第81号	鶴岡市農業委員会委員の任命について	省略	
議第82号	人権擁護委員候補者の推薦について	省略	
議第83号	令和6年度鶴岡市一般会計補正予算(第4号)	省略	可決 (全員賛成)

### ▼議員提出議案と審議結果

議案番号	議案名	付託委員会	審議結果
議会第6号	国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出について	省略	可決 (全員賛成)
議会第7号	防災・減災、国土強靱化対策の更なる推進を求める意見書の提出について	省略	
議会第8号	治安維持法犠牲者に謝罪と賠償をする国家賠償法の制定を求める意見書の提出について	省略	可決 (賛成多数)
議会第9号	訪問介護の基本報酬引下げの撤回を求める意見書の提出について	省略	
議会第10号	東北電力女川原子力発電所の再稼働を行わないことを求める意見書の提出について	省略	否決 (賛成少数)

### ▼請願と審議結果

請願番号	請願件名	付託委員会	審議結果
請願第3号	治安維持法犠牲者に謝罪と賠償をする国家賠償法の制定を求める意見書提出に関する請願	総務	採択 (賛成多数)
請願第4号	国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見書の提出についての請願	総務	採択 (全員賛成)
請願第5号	家族従業者の働き分を認めない所得税法第56条の廃止のための意見書提出を求める請願	総務	不採択 (賛成少数)

# 委員会審査

提出された議案をそれぞれ所管の委員会に付託して審査します。  
審査の主なものを掲載します。

## 決算特別委員会 総務分科会

### サイエンスパークが本市にもたらす効果は

**委員** 慶應義塾連携協定に関し、地域経済への波及効果の分析を行っているが、その結果と評価は。

**政策企画課長** 慶應先端研やベンチャー企業など、サイエンスパークが本市にもたらす効果の調査を、山形銀行に委託し実施しており、分析結果は5月に市ホームページで公開している。この調査によると、人口面では、サイエンスパーク内で約580人の雇用が生まれ、定住人口の増加に寄与している。加えて、経済面では、年間約41億600万円の経済波及効果が推計され、5年前の前回調査と比較し約10億2,900万円増加している。今回の調査によって、市の取組次第で、サイエンスパークは発展の余地があることが分かったため、今後も市民の理解を得ながら支援していきたい。

### 食文化創造都市推進事業の取組は

**委員** 5年度の評価と課題は。  
**食文化創造都市推進課長** 5年度は、「次世代ガストロノミーコンペティション（※1）」を開催し

た。この競技会は、郷土食や在来作物をテーマに、料理人と生産者等がチームを組み参加する形式で行われ、参加者が互いに刺激を与え、高め合うことにつながったと考えている。また、食文化を次世代につないでいくため、小学生を特別審査員に加えて実施した。同事業を進める中で、ユネスコ食文化創造都市に対する市民の理解が深まり、認知度も向上した一方で、食文化と観光面、産業面との連携を更に進め、産業振興を図ることが課題と捉えている。



次世代ガストロノミーコンペティション（左から）準グランプリ、グランプリ、審査員特別賞受賞者

### 市税の不納欠損額が1億円を超えた要因は

**委員** 不納欠損額（※2）が増加した要因をどのように分析しているか。

**納税課長** 5年度の不納欠損額は約1億1,000万円であり、4

年度と比較し、約5,000万円増加している。市税滞納者に差押え財産がない場合や、差押えによって生活困窮に陥る場合等に、滞納処分執行を停止しているが、執行停止から3年間継続して生活状況に改善が見られない場合は不納欠損処理を行うこととなる。執行停止処理件数及び滞納税額は、コロナ禍だった2年度が近年では最も多かった。このことが、5年度の不納欠損額が増加した要因の一つと捉えている。

## 決算特別委員会 市民文教分科会

### マイナカードを利用した各種証明書コンビニ交付事業の効果は

**委員** 5年度の成果として、窓口の事務軽減が図られたとしているが、約1,000万円の経費に見合うだけの効果があったのか。

**市民課長** コンビニ交付により、年間3,480時間分の窓口業務が縮減され、人件費に置き換えられたことによる。5年度分まではコンビニ交付の手数料を特例的に減額してきたが、6年度からそれが終了するため、交付手数料が経費を上回ると見込んでいる。

また、5年度の各種証明書のコンビニ交付件数は全体の39%であり、4年度と比較して15%増加していることから、市民の利便性は格段に向上したと捉えている。

### 温海地域で実施している教育環境充実事業の概要は

**委員** 温海地域教育環境充実事業委託料の概要は。

**温海庁舎総務企画課長** 温海地域では、5年5月から温海中学校の3年生を対象とした「あつみ地域未来塾」や、温海地域の各保育園及び小・中学校で実施している「生きる力を育む・非認知能力を伸ばす教育」等に取り組んでいる。同委託料は、これらの事業を推進するために温海生涯学習振興会に配置している、地域おこし協力隊1人の活動経費である。

### 学校給食での地場産野菜の使用率を上げるためには

**委員** 野菜の地場産物の割合が減少傾向にあるが、地産地消率を上げる取組は。

**学校給食センター所長** 前年度の使用実績を参考に、各種野菜の年間使用量の推計を協力農家等に通ずる取組をしている。生産量を保てるように取り組んでいるが、生産者の高齢化や猛暑による収量

※1 次世代ガストロノミーコンペティション…次世代を担う若手料理人の育成と発掘、郷土料理・在来作物の探求をテーマとした競技会。

※2 不納欠損額…市の収入として決定した市税のうち、時効等により徴収し得なくなつて損失として処分した額。

の低下が地産地消率に影響を及ぼしているため、今後、関係部署と協力しながら、全庁体制で生産者及び利用食材の拡大を進めていきたい。

## 決算特別委員会 厚生分科会

### 子ども・子育て支援事業ニーズ 調査結果の施策への反映は

**委員** 同調査によって得た結果を施策にどう反映させていくか。

**子育て推進課長** この調査は、第三期子ども・子育て支援事業計画を策定するに当たり、保育や子育て支援事業に対する保護者のニーズ把握を目的に実施したものである。調査結果からは、保育施設や学童保育の長時間保育のニーズが高いことや、核家族化に伴い、子育て支援センター等に子育て相談をするケースが多い一方で、支援施設の利用を知らない方も多くいることが分かった。こうした課題に対応できるよう、今後の施策に反映していく。

### 障害児支援事業費の増加要因は

**委員** 事業の決算額や放課後等デイサービスなどの障害児施設の利用者数が、前年度と比較して大幅

に増加している。その要因と対応状況は。

**福祉課長** 発達障害等の社会的認知度が高まり、医療機関を受診する児童が増え、結果的に発達障害と診断される児童が増加したことが要因と考えられる。今後も発達障害等と診断される子どもの数は増加していくと捉えており、受け入れる事業所を増やすことを検討する必要があると考えている。

### 荘内病院の医療従事者の確保は

**委員** 職員数の減により前年度に比べ給与費が減少したことだが、医療従事者の確保についてはどのように考えているか。

**荘内病院総務課長** 医師については、5年度末時点では退職等によって減少していたが、現在は5年度当初の人数まで回復しており、さらに6年度後半にも採用を見込んでいます。看護師については、全国の地方病院で不足しており、確保に苦慮している。この対策として、県内及び近隣の看護学校を訪問し、荘内病院のPRや学生の動向把握をしているほか、採用試験を複数回実施している。また、試験合格者が有資格者の場合、前倒しで採用するなどしながら、看護師の確保に努めている。

## 決算特別委員会 産業建設分科会

### 水田の畑地化に意欲的な農家への支援は

**委員** 畑地化促進事業の採択を受けている農家の実績と、今後の見通しは。

**農政課主幹** 主食用米の需要が減少する中、畑作物の需要に応じた生産を推進するために、国は水田の畑地化を支援している。この事業には、10a当たりの支援額が14万円の畑地化支援と10万円の定着促進支援、土地改良区に地区除外決済金等を支払う必要が生じた場合に、10a当たり上限25万円を支援する土地改良区決済金等支援がある。5年度の実績は6件、約14haであるが、6年度は40件、約65haと大幅な増加となり、今後も更に取組が増えるものと見込んでいる。

### 移住希望者向け「お試し住宅」の成果は

**委員** 現在満室のようだが、利用実績は。また、どの程度、本市への移住に結び付いているか。

**建築課長** お試し住宅(※3)は、平成30年から実施しており、現在、美原町の市営住宅美原団地

に8戸設置している。家賃は月額1万2,000円程度で、冷蔵庫、テレビ、電子レンジ、洗濯機、エアコン等を備え付けている。これまでの利用実績は34世帯53人であり、このうち本市に移住したのは17世帯29人となっている。

### 駅前の飲食店募集の取組は

**委員** FOODEVERへの出店促進と駅前の昼食場所が不足していることへの対応は。

**商工課長** FOODEVERへの出店は、月極めの家賃だけでなく、日割りの家賃も設定し、観光客の多い繁忙期やイベント開催時に限った出店など、一時的な入居も可能として周知を図っている。駅前の昼食場所が少ないことは課題として認識しており、飲食店などのテナント募集に努めていきたい。



FOODEVER (末広町)

※3 お試し住宅…市営住宅の一部を、県外在住者で本市に移住を希望する方を対象に、最長6か月間貸出する支援制度。

# 9月定例会のポイント

令和6年7月25日の大雨により被災された方を支援

## 大雨災害対策関連予算を可決（議第70号・議第71号・議第83号）

9月定例会で承認・可決した大雨被害対策の事業について、主なものを紹介します。

### ■被災住宅復旧支援事業 4,406万円

- ・床上浸水世帯を対象とする、床や外壁、電気・給排水設備、トイレ等生活に最低限必要な住宅部分の応急修理への補助 **821万円**
- ・床上・床下浸水世帯を対象とする、住宅の修繕工事等への補助 **3,405万円**
- ・床上浸水世帯を対象とする、使用不能となった洗濯機や冷蔵庫、テレビ等の生活家電の買換えへの補助 **180万円**

### ■農地農業用施設災害復旧事業 5億950万円

農地、農業用施設の復旧経費



大雨で崩れた農地

### ■林業施設災害復旧事業 1億9,775万円

林道、森林公園等の復旧経費

### ■商工観光施設災害復旧事業 3,000万円

湯殿山スキー場ゲレンデの復旧経費

### ■観光誘客緊急支援事業 3,450万円

大雨の影響で宿泊・観光施設の予約キャンセルや予約控えなどがあったことから、観光誘客の促進を図るもの

- ・インターネット旅行会社のウェブサイトへの観光特設ページの掲載及び宿泊割引クーポンの提供に係る補助金 **2,800万円**

- ・旅行事業者が企画する宿泊を伴うバスツアーに係る補助金 **500万円**

- ・観光協会等が実施する誘客促進事業に係る補助金 **150万円**

### ■農業災害防止・復旧支援事業 1,560万円

被災した農機具等の修繕経費の支援等、農業者に対する県の補助事業を拡充して支援するもの

## 市民との意見交換会を開催 ～市民の声を市政へ～

議会について理解を深めてもらうことや、頂いた意見を市政に反映させていくこと等を目的に、令和6年度も市民との意見交換会を実施しました。

班名	日時	会場	参加者	テーマ
総務	8月21日(水) 15:30～	市役所 委員会室	市内の県ハイヤー協会会員 6人	2次交通の未来と日本版ライドシェアの可能性
市民文教	8月20日(火) 18:30～	出羽庄内国際村 大ホール	民間クラブ関係者等 15人	部活動改革
厚生	8月6日(火) 10:00～	市役所 委員会室	民生委員・児童委員 7人	地域福祉の現状と課題
産業建設	8月20日(火) 14:00～	温海町森林組合 会議室	林業振興協議会 林業再生検討部会員等 7人	林業振興



# 総括質問

市長提出議案に対して、会派を代表して8人の議員が質問しました。  
各議員1項目について概要をお知らせします。

## YouTube 「鶴岡市議会チャンネル」



本会議の生中継・録画配信を行っています。

YouTube 鶴岡市議会



質問は市議会ホームページ等で公開している録画配信や会議録で全てご覧いただけます。原稿は質問した議員本人の責任において執筆しています。

※会議録の公開には一定の期間を要します。

## 中長期の財政運営の考え方は

創政クラブ **本間 新兵衛** 議員



**議員** 本市の財政を考えると、歳入では、自主財源が少ないこと、歳出では、諸経費の上昇や施設

の維持管理・更新費用の増加、人件費等の義務的経費の高止まりなどが懸念される。今後の財政運営についての考え方は。

**市長** 人口減少により大幅な税収増が見込めない中、社会保障関係費や公共施設の維持修繕費の増加等の課題はあるが、現在整備中の新産業団地等への企業誘致を進めることで、法人市民税や固定資産税のほか、雇用者の増加による個人市民税の増収を図るなど、税源の安定的な確保に努めていく。歳出については、総合計画後期基本計画に基づく事業への予算の重点化を図るとともに、事務事業の見直しなど、行財政改革の取組を進める。また、歳入規模に見合った歳出構造の実現を図るなど、予算編成にしっかり取り組み、財政運営の持続性を確保していく。

### ほかの質問

一般会計の決算、豪雨災害関連、産業政策の評価 など

## 定員適正化計画の見直しは

日本共産党鶴岡市議団 **坂本 昌栄** 議員



**議員** 行財政改革大綱の定員適正化計画に基づき、正規職員の削減を進めてきたが、職員はコロナ禍

や豪雨災害対応等で疲弊している。今のままでは、万が一、市全域にわたる災害が起きた場合に対応できるのか疑問である。住民の福祉の増進を図ることを基本とする自治体本来の目的達成や、山積する課題解決のためにも、定員適正化計画を見直すべきだが、見解は。

**市長** 市が取り組む課題はますます複雑・多様化している。コロナ禍を経験し、また、激甚化する自然災害への対応が増加する一方で、少子化が進展し、人材の獲得が年々厳しくなっている。緊急的な対応を考慮すると、職員の確保は重要な課題である。今後も危機管理を含む市民サービスの維持・向上を図るとともに、定員適正化の見直しの検討も含め、適正な人員配置による職員体制の構築に努める。

### ほかの質問

豪雨災害への根本的対策、経済情勢の今後の見直し など

## 財政の健全化の考え方は

鶴岡市議会公明党 **秋葉 雄** 議員



**議員** 自治体の財政は、民間と違い、黒字にしていなければならない。厳しい財政状況の中、何をやったかが問われる。

新しい子どもの遊び場や図書館などが必要であれば、公共施設の集約・複合化を図ること、各種事業についても、廃止を含めて統合を図っていくことが、これから重要な課題になるのではないかと考えるが、見解は。

**市長** 人口減少や施設の老朽化が進む中で、歳入に見合った歳出の構造を実現していかなければならない。地域人口や利用頻度などを十分考慮し、統廃合や更新の際の複合化によって、施設の総量適正化を図ることが重要であると認識しており、朝陽五小と第五学区放課後児童クラブ、朝日庁舎と消防署朝日分署は合築で整備した。今後も総合計画後期基本計画に基づく各種事業を進める際は、こうした視点を持って取り組んでいく。

### ほかの質問

東北公益文科大学の公立化に伴う機能強化、人手不足対策 など

## 「行政評価」の成果と市民への共有は

SDGs鶴ヶ岡 **田中 宏** 議員



**議員** 行財政改革の取組において、行政評価（※）による進捗管理を導入した成果は。

**市長** 財政健全化、業務改善効率化、市民サービス創出向上を3つの柱として創造的行財政改革を推進しており、令和3年度から行政評価を導入した。例えばふるさと寄附金については、管理運営体制の見直しや競争力のある返礼品の造成など、部署横断・横連携を図りながら改善を進めた結果、5年度の寄附総額は過去最高となった。今後も総合計画の推進と一体的に行財政改革に取り組んでいく。

**議員** 行政評価の成果を市民に伝えることで、透明性を向上させ、信頼感を高める考えは。

**市長** 限られた関係者での行政評価で終わってしまう懸念もあるため、市民に開かれた形で日常的に情報提供や意見聴取を行うよう、行政の仕組みのレベルアップを図っていきたい。

### ほかの質問

合併特例債と今後の財源

※行政評価…本市の行政評価は、担当課による自己評価のほか、財政課等による内部評価と、行財政改革推進委員による外部評価によって構成される。様々な視点から評価・分析を行うことで、的確な課題の抽出と改善の方向性を提案し、効果的な事業推進が期待される管理手法。

## ふるさと寄附金の現状と今後の取組は

市民の声・鶴岡 **遠藤 初子** 議員



**議員** 5年度のふるさと寄附金は過去最高の23億8,104万円となったが、その要因は。

**市長** 寄附金を受け付けるポータルサイトを拡充したことや、コストの圧縮、配送管理体制の見直し等によって返礼品を出品しやすい体制づくりをしたことなどが考えられる。今後も、寄附者と出品者の両方から選ばれよう取り組んでいく。

**議員** 今後の目標と寄附金の使途は。

**市長** 10年度までに寄附金額年間30億円達成を目標に掲げている。寄附金の使途については、寄附者自身が総合計画の柱である未来創造のプロジェクトなど8分野から選択できるほか、災害支援も選択できるようにしている。引き続き、総合計画推進のための財源として活用するほか、使途を明確にした具体的なプロジェクトについても研究・導入していく。

### ほかの質問

観光政策、農産物の国内外への販路拡大と市場開拓 など

## ふるさと寄附金返礼品への気候変動の影響は

希望のつどい **中沢 深雪** 議員



**議員** 昨今の気候変動による豪雨や記録的高温等の影響で、農作物の収量減少や生育障害、品質低下などの問題が生じているが、ふるさと寄附金の返礼品への影響と対策は。

**市長** 今年、さくらんぼやだちや豆、桃の返礼品について、届けられなかったり、出荷が遅れが生じたりするなどの影響があった。気候変動対策としては、降ひょうや高温障害の減災対策に取り組んできたが、引き続き台風等の気象の変化に関して事前の被害防止策の呼び掛けを徹底するとともに、県やJAなどの関係機関と連携し、生育状況や被害状況を迅速に把握しながら、必要な対策を講じていく。また、気候変動による影響を受けた場合の代替手段を明示するなど、寄附者が安心して返礼品を選択できるよう対策を講じていく。

ほかの質問

なし

## 県外転出者をふるさと回帰にどうつなげるか

リベラル **本間 信一** 議員



**議員** 本市の県外転出者は高校卒業後から20代前半までが最も多く、その後、地元に戻る女性が少ない状況である。県外転出による女性人口の減少が出生数の低下につながっていると考えるが、対策は。

**市長** 県の調査によると、昨年度、本市の15歳から49歳までの女性の県外転出者数は、164人の転出超過となっている。この差が婚姻数低下の要因の一つであり、大きな課題と認識している。人口減少対策として、大学生やU・Iターン希望者を対象にしたインターンシップ等のほか、つるおかエール奨学金返済支援事業を行っている。この事業の認定を受けた206人中、66人が本市に帰ってきており、うち43人が女性である。また、魅力的で多様な雇用の場を創出するために、新産業団地の整備に取り組むなど、地元に戻しやすい環境づくりを進めている。

ほかの質問

令和5年度決算

## 水路や河川設備の改修による災害対策を

市民フォーラム **工藤 博** 議員



**議員** 7月の大雨で中央工業団地は冠水し、膝までの水位になった。雨水対策工事の工期を早める必要があるのでは。

**市長** 同工業団地の雨水対策工事は、12年度の竣工を予定しており、現在、工業団地の南西にある線路沿いの水路改修に着手している。工事の加速化には、上下水道やガス管の移設等の課題があるが、可能な限り工期の短縮に努めていく。

**議員** 市民の安全を守るため、市街地の水路や樋門などの河川設備の改修にも早急に取り組む必要があると考えるが、見解は。

**市長** 河川設備の改修による浸水防止対策は、広域的な幹線水路網の調査に基づく浸水原因の特定や最終的に流れ込む河川の管理者との協議など、課題が多いが、今後、既設水路の排水能力を評価し、排水能力の低い原因箇所の改良を進め、市街地の浸水被害の解消を図っていく。

ほかの質問

東北公益文科大学の公  
立化

# 委員会視察報告

先進的な施策を実施する自治体の視察を行いました。

その概要をお知らせします。

## 産業建設常任委員会

7月2日～4日

### 北海道旭川市 若者・交流に着眼した施設整備

旭川市は、市内中心部にある閉館したホテルを活用し、「ICTパーク」を整備している。ホテル内にあった映画館の大スクリーンと観客席は、eスポーツ（※）大会ができる設備に改修され、道大会や全国大会などが行われている。

施設の一面には、高性能のパソコン等が設置され、eスポーツのスキルアップに活用できるトレーニングジムがあり、18歳以下は無料で利用できる。また、インターネット環境が整備された coworking space 等も設けられており、多くの人に利用されている。若者、人材育成、交流人口などに着眼した施設整備の在り方について参考となる取組であった。



### ほかの視察先と視察項目

北海道長沼町：子実用トウモロコシの

生産振興の取組

北海道千歳市：道の駅

「サーモンパーク千歳」

## 厚生常任委員会

7月8日～10日

### 山口県下関市 地域で子育て家庭を支える

下関市では、地域で子育て家庭を支援する体制の整備に、長期的な計画で取り組んでいる。令和元年度から、子どもの貧困対策や子ども食堂等の居場所の立ち上げへの支援を行い、4年度からは、居場所を持続させるための支援等を行ってきた。また、子育てに関する悩みを抱えたままによう相談室を設置しているほか、子どもに関する課題全般に対して地域の支援体制の整備を進めている。子どもの支援に関心を持つ人が増え、行政だけでは実現できなかった支援につながったなどの効果が出ているとのことだった。子育て支援が着実に進展しており、大変参考になった。



### ほかの視察先と視察項目

福岡県飯塚市：生活困窮者自立相談支援、

フレイル予防事業

福岡県福岡市：見守り推進プロジェクト、

みんなでよかトレ など

## 議会運営委員会

7月16日～18日

### 岩手県奥州市 市民に見える議会の取組

奥州市議会では、議長就任を希望する議員が市民への約束を表明し、議長マニフェストとしてまとめ、公表している。現在は、「議会の見える化」の推進や政策立案・政策提言サイクルの充実・強化など、議長マニフェストに掲げられた5つの項目について、議長任期の4年間の工程表を作成し、取り組んでいる。

本市議会で制定に向け検討中の議会基本条例についても、奥州市議会は時間と研究を重ね制定しており、継続的に評価・検証していく重要性を再認識した。また、各種SNS等での情報発信等、議会として先進的な取組を行っており、今後の議会改革において、大変参考となった。



### ほかの視察先と視察項目

宮城県大崎市：議会運営及び議会改革の

取組（議会基本条例等）

宮城県色麻町：議会運営及び議会改革の

取組（電子採決システム等）

※eスポーツ…「エレクトロニック・スポーツ」の略。コンピューターゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。



## 災害要支援者対策は インクルーシブ防災で

さとうひろゆき  
佐藤博幸議員



**議員** ケアマネジャーや障害者相談支援専門員等の専門職から個別避難計画の作成に協力してもらうなど、高齢者や障害者を含む、あらゆる人を取り残さないインクルーシブ防災の考えは。

**健康福祉部長** 災害時に福祉関係者を有機的につなぐため、デジタルの活用も併せ、地域包括ケアシステムを生かせる仕組みにしていきたい。

**議員** 福祉・地域の関係者等を集めて、災害時の対応を協議する会議を設置する考えは。

**健康福祉部長** 現在は庁内関係課で防災のための合同会議を行っているが、今後は地域の方に参加してもらうことなども必要と考えている。

ほかの質問

なし

## 新図書館構想とともに 新郷土資料館構想も

さとうまさや  
佐藤昌哉議員



**議員** 本市の郷土資料館には、全国でも類を見ない古文書や歴史資料、行政文書等が保管され、中高生をはじめ市民が歴史・文化を学ぶために適した環境がある。新図書館の構想だけでなく、新郷土資料館の構想も加え、郷土資料館の名称をしっかりと示していくことが重要ではないか。

**教育部長** 同館は、図書館の郷土資料部門が独立する形で開館し、庄内全域の史料の収集に努め、利用者の調査研究に役立ってきた。新図書館整備の基本構想は、図書館と郷土資料館の老朽化等の課題解決に向けて策定することとしており、新郷土資料館も併せて検討を行っていく。

ほかの質問

新学校給食センターの整備

## 産業廃棄物焼却処理施設 建設計画への対応は

しばやこういち  
渋谷耕一議員



**議員** 既存施設の6倍程度の処理能力がある産業廃棄物焼却処理施設が櫛引地域に建設される計画について、業者からの説明会があった。農業や生活環境への影響を懸念し、建設に反対する地区もある。庄内地域の産業廃棄物焼却処理施設の現状と、この計画への市の対応は。

**市民部長** 県内15施設のうち庄内地域には4施設がある。同施設の設置許可権者は県であるが、市としては、地区住民からの不安や計画の見直しを求める声などの情報を提供しながら、適正な処理が図られるよう県の調査等に協力していく。

ほかの質問

赤川水系活性化施策の進捗状況と今後の取組

## 道の駅あつみ移転後の 現施設の活用方針は

いからしかずひこ  
五十嵐一彦議員



**議員** 令和9年に予定されている新しい道の駅あつみの開業後、現在の道の駅あつみ「しゃりん」の施設をどのように活用する方針か。

**温海庁舎支所長** 現施設は、土地が市、物産館等が第三セクターである株式会社クアポリス温海、トイレを含む情報館が国土交通省の所有となっている。新しい道の駅の開業に伴い、第三セクターは解散、清算の方針を既に決定している。土地を含めた施設の取扱いについては、市が主体となって第三セクターや国土交通省と調整を図り、地域の住民・団体等からも意見を聴きながら、来年度以降に方針を定めていきたい。

ほかの質問

庄内地域水道事業統合基本計画（案）、ケーブルテレビ事業





## 小中一貫校 教育の機会均等の上で課題は

かとうこういち  
加藤 鑽 一 議員



**議員** 教育委員会は、小中一貫教育の教育効果が高いと説明してきたが、藤島地域だけが小中一貫教育となれば、「教育の機会均等」の上で課題が生じないか。

**教育長** ほかの小・中学校と同様に市が採択した教科書を使用するため、どの学校でも一定の教育水準が維持され、問題はないと考えている。

**議員** 致道館中高一貫校への進学希望者にとって、9年間の小中一貫教育は意味があるのか。

**教育長** 6年生までの学習内容は、ほかの小学校との違いはなく、中学受験を希望する児童にとって不利になることはないと考えている。

ほかの質問 .....  
なし

## 増え続けているイノシシ被害への対策状況は

すがい いわお  
菅 井 巖 議員



**議員** 西郷地区の砂丘畑でイノシシによる農作物被害が多発している。被害や捕獲の状況、電気柵の設置状況は。

**農林水産部長** 本所管内の今年度の被害相談は、8月末時点で21件と、既に昨年度の19件を上回っている。捕獲頭数は7月末時点で23頭であり、昨年同時期の10頭と比較し2倍以上増加している。農作物被害防止対策として、侵入防止柵の設置や誘引しない環境の整備、捕獲・駆除の総合的な実施が重要である。電気柵設置の補助申請は年々増加しており、今年度は53件の申込みがあり、設置総延長は約22kmとなっている。

ほかの質問 .....  
新学校給食センター整備基本計画、  
ごみの減量

# 特別委員会中間報告

## 議会改革特別委員会

令和5年9月定例会での中間報告以降、計11回の委員会を開催した。

第13回（5年12月11日）以降の委員会では、議長の諮問を受け、鶴岡市議会議員政治倫理条例の改正に向けた協議を行ってきた。その後、第18回委員会（6年4月19日）で、本委員会としての条例改正案を決定し、議員全員協議会での協議も踏まえた上で、6月定例会最終日に委員会として改正案を提出した。

また、第16回（6年3月5日）以降の委員会では、議会基本条例の制定に向けた協議も並行して行ってきた。

本市議会の機能強化と活性化に向け、引き続き鋭意検討・協議を進めていく。



## 高速交通等対策特別委員会

9月10日に委員会を開催し、日本海沿岸東北自動車道の工事の進捗状況、庄内空港・羽越本線の状況について、市当局から説明を受け、質疑・意見交換を行った。

日沿道は、鼠ヶ関トンネルが約55%、小岩川第2トンネルが約66%の進捗状況であり、ぜい弱な地層等が掘削に影響を与えている。

庄内空港は、令和5年の利用者数が4年ぶりに30万人台に回復した。引き続き、利用拡大と滑走路延長（2,500m化）など空港機能の強化に取り組む必要がある。

羽越本線は、今年、全線開通から100年の節目に当たり、これを契機とした利用拡大に取り組んでいる。高速化及び安定輸送について、粘り強く要望活動等に取り組んでいくことが重要である。

引き続き高速交通基盤の整備促進に係る調査・研究を進めていく。

# 議会を傍聴してみませんか

どなたでも傍聴できます

◆「本会議」は議場の傍聴席で傍聴できます。本所4階ロビーで傍聴の受付を行っています。傍聴の定員は64人です。

◆「委員会」は各会議室で傍聴できます。本所2階の議会事務局で傍聴の受付を行っています。傍聴の定員は5人〜20人程度です。

※本会議又は委員会を団体で傍聴する場合は、事前に議会事務局までご連絡をお願いします。

◆「本会議」は本所及び各庁舎市民ロビーのテレビモニターで生中継しています。また、市議会ホームページ・ユーチューブでは生中継及び録画配信を視聴できます。

## 12月定例会日程（予定）

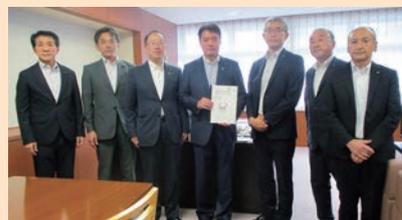
日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26	27	28	29	30
12/1	2	3 本会議 (開会・総括質問) 予算特別委員会	4	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (一般質問) 議会運営委員会	7
8	9 本会議 (一般質問)	10 総務 常任委員会	11 市民文教 常任委員会	12 厚生 常任委員会	13 産業建設 常任委員会	14
15	16 常任委員会 予備日	17	18 議会運営委員会	19 予算特別委員会	20 本会議 (表決・閉会)	21
22	23	24	25	請願・陳情 提出期限 11月26日(火)午後1時		

※各会議の開会時刻は午前10時です。  
 午後にわたる場合は1時間程度の休憩をはさみ再開します。  
 ※日程は変更される場合がありますので、ご了承ください。

## 重要事業要望活動 市の重要事業について国に直接要望しました。

7月19日に議長、副議長、総務常任委員長、産業建設常任委員長及び高速交通等対策特別委員長が、市長とともに、国土交通省、財務省及び子ども家庭庁を訪問。大臣や幹部と面会し、日沿道の早期全線開通や庄内空港の滑走路延長、国立がん研究センターへの支援、子育て施策の充実など、本市の重要事業に関する要望活動を行いました。

市議会では、要望事項の実現に向けて今後も関係省庁等に対し働き掛けを行っていきます。



国土交通省に要望書を提出

## 編集後記

気候変動によって激甚化・頻発化する自然災害が、市民生活に大きな影響を与えています。本市でも7月の大雨時には警戒レベル5の緊急安全確保が発令され、9月定例会では災害対応や被災者支援に向けて、多くの議論が交わされました。

緊急時にいち早く現場で対応していただいた市職員や、消防団をはじめ関係団体の皆様に改めて感謝申し上げます。

災害が大きければ大きいほど一層の連携が重要になってきます。

「喉元過ぎれば熱さを忘れる」とはならないように、今回の災害を経験して見えてきた課題を克服し、市民の安全・安心を守るために、本市議会としても引き続き防災・減災に取り組んでまいります。

広報広聴委員会委員

黒井 浩之

発行／鶴岡市議会 編集／広報広聴委員会

〒997-8601 山形県鶴岡市馬場町9-25  
 電話 0235-35-1908 FAX 0235-25-2123  
 メールアドレス gikai@city.tsuruoka.lg.jp

